

3 月 14 日（日） 12:45 ～ 13:45 W 会場

## 男女共同参画セミナー

なぜ女性研究者が少ないのか？

18,000 人の研究者を対象にした大規模アンケートの結果から考える

主催：日本植物生理学会・男女共同参画委員会

アンケート解説：国立保健医療科学院 阪東美智子先生，静岡大学 本橋令子先生

男女共同参画学協会連絡会は女性の会員比率が少ない自然科学系の学協会で構成され、男女共同参画に関する取り組みを連携して推進するための組織です。その活動の一つが4年に一度行われる大規模アンケートであり、会員の皆様の多くはその回答に協力された18,000人に含まれていることと思います。その結果は「科学技術系専門職の男女共同参画実態調査」として報告されますが、実際にそれに目を通した方は少ないのではないのでしょうか？そこで今回の男女共同参画セミナーでは、第四回目の調査に関わられた国立保健医療科学院・阪東美智子先生と静岡大学・本橋令子先生に講師をお願いし、アンケートの調査から浮き彫りとなった女性研究者を取り巻く環境について解説していただきます。

各大学も女性比率向上を数値で求められていますが、そのための基盤となる意識改革や環境整備の充実には、まず社会的な背景や構造を理解する必要があります。アカデミックなポストを得る女性は本当に少ないのか？少ないとすれば、それはなぜなのか？そもそも、大学などの研究機関に職を求める女性が（男性に比べて）少ないのか、それとも、別な理由で研究職をあきらめている人が多いのか？あきらめるとしたら、どんな理由で？本セミナーでは、皆様がこの社会を構成する当事者として現状を把握するための機会を提供します。